

戦略的イノベーション創造プログラム第3期 (SIP第3期) の検討経緯とPDの選定手続き

令和5年3月

内閣府

科学技術・イノベーション推進事務局



次期SIP（SIP第3期）のこれまでの検討経緯

（令和3年）

12月 CSTIガバニングボード（GB）において、Society5.0からバックキャストにより、15の課題候補を選定。

（令和4年）

1～2月 各課題候補について研究開発テーマのアイデア募集（RFI）を実施、1,000件近い応募あり。

4月 各課題候補の事業化調査（FS）を担うプログラムディレクター（PD）候補を公募

5月 GBでの書面・面接による審査を経て15名のPD候補を選定

6～12月 PD候補を座長として、関係府省、研究推進法人等で構成される検討タスクフォースで、RFI結果を参考として、FSを実施し、インパクトが大きいテーマに絞り込み。

（令和5年）

1月 GBにおいて、FSの結果を踏まえ、事前評価を実施し、14の課題を決定
各課題の「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画（戦略&計画）」案を作成。

2月1日～ 各課題の運営を担うPDを公募。戦略&計画案のパブコメ。

2月8日 CSTI本会議においてSIP第3期の課題の決定について報告

3月16日 GBでの書面・面接による審査を経てPDを決定。戦略&計画を決定。

3月17日 大臣会見、SIP/PRISMシンポジウムで発表

4月 SIP第3期スタート

SIP第3期のプログラムディレクター（PD）の公募 ①

1 募集内容

- 名称：**戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）プログラムディレクター（PD）**
 - ※ 非常勤の一般職国家公務員として採用
- 公募期間：令和5年2月1日～2月21日
- 採用予定者数：**14名**（令和5年1月に決定した14課題の課題毎に1名）
- 採用予定日：**令和5年4月予定** ※事務の期間を踏まえて内定者と相談の上、決定
- 決定手続：選考基準に基づき書類及び面接を実施し、**3月のガバニングボードで決定予定**

2 業務内容

- ◆ PDは、推進委員会の委員長を務め、推進委員会を通じて「戦略及び計画」をとりまとめるとともに、関係省庁の施策や産業界の取組等との連携により、社会実装に向けた取組を推進する。また、「研究開発とSociety5.0との橋渡しプログラム（BRIDGE）」において関連分野の各省庁施策に対して提案、助言及び支援を行う。

ガバニングボードの下に設置された「次期SIP制度設計等に係る有識者検討会議」での検討の結果、PDは、ミッションに基づき、研究開発のみならず、事業、制度、社会的受容性、人材など社会変革を促進するため、研究開発計画をとりまとめ、研究推進法人の機能を生かし、研究開発テーマを推進するとともに、他のSIP課題との連携、関係省庁・産業界の取組との連携、PRISMなど他の施策の活用など社会実装に向けた戦略を総合的、機動的に推進するものと位置づけられた。

3 選考基準

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）において、ガバニングボードで示された次期SIPに向けた方針等に基づいて実施するために必要な以下の全ての経験・能力を有すること。

- ア 課題全体を俯瞰的にとらえ、**将来像の実現に向けて、ビジョンを描き、技術開発のみならず技術開発に係るルール整備やシステム構築など必要な戦略を打ち出す能力**
- イ 課題候補に関する**国内外の技術や市場の動向、関連する規制・施策等の動向等に関する知見**
- ウ 産学官の関係機関が参画する**技術開発から社会実装まで見据えた研究開発プロジェクト又はこれに相当する重要なプロジェクトのマネジメント経験**（5年以上の実務経験を有することを原則とする。）
- エ 研究開発計画や研究開発テーマ等の内容、進捗状況等について**ステークホルダー等に対し分かりやすい説明や調整ができる能力**